

みなさんこんにちは、いつも白衣の恵子先生です。先週、〇〇先生からふたご座流星群のお話がありましたね。みなさんは夜空を見上げてみましたか？先生は、夜中に自宅のベランダにもたれかかり、しばらく仰ぎ見していると、うっすらと今流れたかな？と感じるものがあり、そのうちしっかりと光を放つ流れ星が見えました。ものの10分くらいで流れ星が見えるのですから、すごい確率ですよ。宇宙の神秘に触れる素敵な星空でした。今年チャンスを逃してしまった人は、また来年チャレンジしてみてくださいね。

さて、今週は5年生が『ガンブラアカデミア』を実施しました。先生くらいの年齢のお父さんたちは、きっと子どもの頃に夢中になってプラモデルを作っていたのではないのでしょうか？先生が小学生の時には、SDガンダムといって2頭身のずんぐりむっくりな可愛いガンダムプラモデルが流行り、女の子にも人気でしたよ。5年生のガンブラアカデミアの振り返りを紹介しますね。

・この授業を通して、ものづくりの難しさや、どのようなパーツを作って、組み立てるための組み合わせを考えなければならないのかということを知りました。動画ではガンブラの設計やお客様に楽しんでもらうための工夫を知ることができました。

・僕はこの学びを通して、ガンブラはたくさんの人の努力があってできているということがわかりました。1つ1つのパーツにこだわっていたり、お客さんが組み立てやすいようにしたり、AIが作っているものを最後は人の手でこだわっている事がわかりました。それにお客さんがこれは気になるなという工夫もされていました。パッケージにもこだわっており、お客さんが買いたいと思う工夫がされていました。

・プラモデルを作りにはいろいろな努力が積み重ねられている。持続可能なものづくりを続けていくためにプラスチックのリサイクルを行ったりと工夫をしていることがわかった！

・ガンブラの動画を見た感想は、ガンブラをつくっている人たちは「つくってる人が安全につくれるように」とか「できるだけ少ないパーツで、くみやすく、面白い設計にする」など、プラモデルをつくる人のことを考えて「楽しめるかなあ」「安全性は大丈夫かなあ」と考えてつくってくれているんだと思いました。もしまたつくる機会があったらつくってくれている人のことも考えながら大切につくってみようと思いました。

・ガンブラについての動画を見て、ガンブラを作るためには、たくさんの人が協力して、様々な工夫や努力があって、作られている事がわかりました。また、切り離れたプラスチックを、リサイクルして、新しいプラスチックができていることもわかりました。そして、実際にガンブラを作るのも楽しかったです。

5年生は様々なことを考えながら組み立てていたんですね。ステキですよ。そもそも『機動戦士ガンダム』ってどんなお話なのか知っていますか？一言で言うと『宇宙戦争の話』です。(燃え上がれ〜♪)オープニングのナレーションでこの物語の設定が読み上げられます。

「人類が増えすぎた人口を宇宙に移民させて半世紀が過ぎていた、地球の周りの巨大な人工都市は人類の第二の故郷となり、人々はそこで子を生み育て死んでいった。」

宇宙各地に作られたスペースコロニー(今でいう宇宙ステーションのようなイメージかな？)地球からそこに移住させられた人々が、スペースコロニーでの生活が十分にできるようになり、地球にずっと住んでいる人々の権力から独立したいと、独立戦争をスタートさせます。その1年間の戦いを描いた物語です。最初は戦いに戦艦を用いていました。しかし、技術革新が進むと、モビルスーツという人型戦闘用ロボットが開発されます。この人型戦闘ロボットがガンダムです。このガンダムの開発者の息子が偶然にもガンダムのパイロットとなって、大人たちとともに戦争をしなければならないのです。ガンダムは、初めてのロボットアニメとして子どもにも楽しめる、ストーリーが大人にも楽しめる作品として根強い人気なんですね。

現在、イーロン・マスクが火星に人が住める施設を作り移住するという計画を立てていますが、ガンダムは今から45年前に描かれたにもかかわらず、これからの私達が直面してもおかしくないストーリーが展開されています。怖いくらいに……。だからこそ、地球上に人が住むことができなくなることがないようにSDGsを世界中の国で進めているのですね。つながってなさそうに見えた、『ガンブラアカデミア』と『ゼロカーボン』がそういう意味でも実は深くつながっているのですね。

幸せに何不自由なく生活している日本の裏側では、戦争で苦しんでいる人々がいます。戦車、戦闘機、から近年ではドローンを使った爆撃もされるようになりました。技術の進化は私達の生活を便利に豊かにするものであると同時に、恐ろしい兵器にもなりうることを知り、それを使う人間に責任があるということを忘れてはいけないと思います。

学校は、世の中には自分とは価値観の違う人もいるんだと学ぶ場所。自分の言葉や行動が集団に影響を与えると学ぶ場所。自分の気持ちに折り合いをつけてみんなの納得解を探す場所。そしてみんなで感動する場所だと思うのです。同じ時代を生きていく同士として、様々なことをともに学んでいってほしいと思います。

2025年も残すところ12日、そのうち学校に来る日はあと4日です。学び残しがないように2学期の学習のまとめをくださいね。最後まで粘り強く諦めずに。そして自分の判断に責任をもつことができる大人になるために。それではまた来週、See you next week! Have a nice weekend!!